

「クォーターパウンダー」と繋がっているもの

校長 上原 浩

かつて、某大手ハンバーガーチェーンに「クォーターパウンダー」という商品がありました。日本国内では、1978年に登場しましたが、1983年に「ダブルバーガー」等が発売され、正式メニューから姿を消したそうです。その後は、地域限定や期間限定で販売されたこともあるようですが、2017年の「グランシリーズ」の発売を機に、販売は終了したとのこと。クォーターは1/4、パウンドは「ヤード・ポンド法（主にアメリカで使われている）」における質量の単位で、「1 pound = 約0.453kg」ですから、「クォーターパウンダー」には1/4ポンド（113.4g）のパテが使われています。通常のパテは1枚45g程度なそうなので、2枚のパテを重ねた「ビッグなんとか」よりも肉自体のボリュームがあります。当時、バイトをしていた方の話では、焼くのが非常に難しかったそうです。

さて、「クォーターパウンダー」には100gの輸入牛肉が使われているとします。その牛肉を生産するためには、牛を育てる飼料（えさ）が必要です。牛は体重1kg増やすのに約10~11kgの飼料を必要とします。つまり、「クォーターパウンダー」1つには約1kgの飼料（主として穀物、トウモロコシが多い）が必要になります。そして、飼料（穀物）1kgを育てるためには水2,000リットル（質量にすると約2,000kg）が必要となります。つまり、**「牛肉100gを育てるためにはその10倍の穀物1kgが必要になり、穀物1kgを育てるにはその2,000倍の水2,000kgが必要」ということ**です。言い換えれば、**「牛肉100gには、穀物1kgと2トンの水が詰まっている」ということ**になります。よく、日本は自然が豊かな国であると言われる。それは、年間を通して豊富な降水量があるためです。もし、日本列島に人が住んでいなければ、私たちが住んでいる都市部の平野は森林に覆われ、サルは太平洋から日本海まで、木を伝わりながら移動できると聞いたことがあります。また、水道の蛇口をひねれば、いつでも安全な水が勢いよく流れ出ます。しかし、食料自給率は4割以下と低い水準であるため、我が国は、**間接的に膨大な量の水と飼料となる穀物を輸入していること**になります。また、間接的に使われている水や穀物以外にも、生産に携わる人、輸送や販売に関わる多くの人々の「労力」や「思い」が込められています。（文中にあげた数値は、研究機関や官公庁のHPから引用しました。あくまでも「おおよそ」の値です。また、この文を書き終えた後、英語科の先生が、似たような内容が3年英語の教科書p80に出ていると教えてくれました。3年生は是非、読んでみてください。）

年末、世界の中で最も豊かな国の一つとされている日本の国内で、飢餓のために親子が亡くなったという悲惨なニュースを耳にしました。一方、テレビからは、「おおすびころりん すっとなん♪ 待て、待て待て。え？ 待て待て！ 合わせてころりん・・・♪ 1億個♪」「**日本では、今日も1人につき、おおすび1個分、合わせて1億個分以上の食べ物が捨てられています。**」というACジャパンのCMが流れていました。

令和3年が明け、未だ日本を含め、世界中が新型コロナウイルス COVID-19に直面しており、首都圏では「緊急事態宣言」の発令も間近に迫っています。こんな時に、「クォーターパウンダー」の話をしている場合ではないでしょう。しかし、時間は刻々と経過しています。来るべき未来には多くの課題があり、それらは同時に進行しています。感染症や戦争、環境、食糧問題という地球的な課題もあれば、進路、友だちや家族とのケンカといったような身近な課題もあるでしょう。どちらも大切な課題です。一方、課題と同じだけの数の夢や希望もあるはず。宮田の子どもたちには、どんな時でも大小様々な課題と向き合い、夢と希望を描いて行動し、明るい未来を切り拓いてほしいと願っています。



表彰



『宮田 Expo2020』 LOVE myself ～私らしく～（文化祭出品作品）

- ◆校長賞 3年生全生徒 「修学旅行学習スケッチブック」
- ◆校長芸術奨励賞 3年 石井陽之 美術科タンブラー&トリックアート自画像
- ◆PTA賞
 - ・3年 足立帆香 美術科タンブラー「陸空と海」
 - ・3年 杉山真音 理科自由研究「世界の歴史を狂わせた感染症」
 - ・3年 水戸部萌絵 修学旅行学習スケッチブック
- ◆PTA佳作
 - ・3年 石尾亜子 家庭科折り紙作品「しんかんせん」
 - ・2年 飯嶋和喜 美術科スタンドアート「平和のマークと平和のハト」
 - ・2年 黒岩冬佳 切り絵「泳ぐ鯛」
 - ・1年 原愛理紗 美術科「手」
 - ・1年 小島留奈 家庭科ブックカバー
- ◆PTA特別賞 美術部 「回転寿司」
- ◆ポスター賞 2年 今田聖里



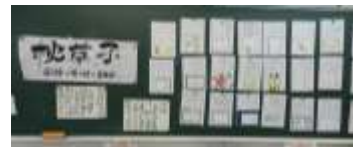
『税についての作文』（保土ヶ谷区納税貯蓄組合連合会）

- ◆連合会会長賞 3年 塩入菜々「真夏の登校」
- ◆税務署長賞 3年 千木良佳子「当たり前のお金」
- ◆県税事務所長賞 3年 奥野瑠色「私たちと税」
- ◆区長賞 3年 市村太一「横浜の自然を守る税金」
- ◆保土ヶ谷・旭連合会長賞 3年 水戸部萌絵「私たちの暮らしを支える税」
- ◆法人会長賞 3年 田中里奈「身の周りの税金」
- ◆間税会長賞 3年 亀田彩乃「税金が生活を変える」



『バドミントン部』（保土ヶ谷区冬季大会）

- ◆女子シングルス2位 2年 高橋麗亜
- ◆男子シングルス3位 2年 野村 涼



新型コロナウイルス感染症拡大に関して



皆様ご承知のように、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、首都圏では「緊急事態宣言」が発出される模様です。現在、宮田中では最大限の感染対策を行っておりますが、今後の行事予定や時程が変更となる可能性があります。保護者の皆様にはその都度お知らせします。引き続きお子様の丁寧な健康観察をお願いすると共に、生徒が発熱や体調不良の際は、各家庭での健康観察をお願いします。また、生徒と同居しているご家族が濃厚接触者となったり、PCR検査を受ける際にも、学校への連絡をお願いいたします。



『木星と土星の超大接近』～水・金・地・火・木・土～

年末の12月21～22日にかけて、「木星と土星の大接近」がありました。今回ほどの大接近（満月の直径の約4分の1）は397年ぶりで、次回は2080年になるそうです。二つの惑星が非常に近づくため、私の肉眼では二つがくっついて一つの明るい星のように見えました。写真は12月22日の夕方に宮田中から見たもので、かなり拡大して撮影したものです。たまにはゆっくり、空を眺めてみませんか？さてさて、写真の左右どちらが木星でしょう？（ヒント：左がやや明るい）

